

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：薬務水道費 目：薬務費

事業名 「第60回献血運動推進全国大会」開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 薬務水道課 献血運動推進係 電話番号：058-272-1111(内3428)

E-mail：c11224@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 37,192 千円 (前年度予算額： 4,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000
要求額	37,192	0	0	0	0	0	0	0	37,192
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・献血運動推進全国大会は、献血運動が全国で盛り上がり、我が国の血液事業を一層発展させるため、毎年、7月の「愛の血液助け合い運動」月間に行われている行事であり、令和6年（2024）年度に当県での開催が決定している。
- ・昭和40年に東京都において第1回大会が実施され、以降、毎年、全国持ち回りで開催されている。（県では昭和51年度「第12回大会」が開催されてから2回目）
- ・国内の医療に関する全ての血液製剤を献血により確保することを目指し、国民一人一人が献血の重要性を認識し、献血運動が全国で盛り上がることにより、特に若年層の献血気運を高め、我が国の血液事業のより一層の推進を図るため、第60回献血運動推進全国大会を開催する。
- ・なお、近年は秋篠宮皇嗣妃殿下がご臨席。

(2) 開催概要

主 催：厚生労働省、日本赤十字社、岐阜県

開催日：令和6年7月のうち1日

会 場：岐阜市内

参加者：厚生労働省、都道府県、日本赤十字社、市町村献血事業関係者、
献血功労者等

内 容：第一部 式典（献血功労者の表彰、体験発表等）

第二部 アトラクション

(3) 開催状況

第54回 (H30) 岡山県 (中止)	第55回 (R元) 石川県
第56回 (R2) 北海道 (中止)	第57回 (R3) 鹿児島県 (中止)
第58回 (R4) 愛媛	第59回 (R5) 千葉県
第60回 (R6) 岐阜県	

(4) 事業内容

- ① 実行委員会及び幹事会の運営 (4~12月)
 - ・ 実行委員会は令和5年10月に設立
 - ・ 大会開催に向けて、実施内容について協議
- ② 大会運営業務委託 (4~10月)
- ③ 大会運営
 - ・ プレリハーサルの実施 (5月末~6月上旬)
 - ・ 前日リハーサルの実施、大会の開催 (7月)
- ④ 次回開催県への引継ぎ (11月)
 - ・ 次回開催県 (宮城県) への引継ぎ

(5) 県負担・補助率の考え方

・ 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (以下「血液法」という。) 第5条において、献血の推進は地方公共団体の責務とされていることから、県負担は妥当である。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	946	事務局員業務旅費
需用費	125	大会開催のための消耗品費等
役務費	121	大会開催のための通信料等
負担金補助及び交付金	36,000	献血運動推進全国大会実行委員会負担金※積算内訳
合計	37,192	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律

(2) 国・他県の状況

令和3年度開催 鹿児島県 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止)
令和4年度開催 愛媛県 (ハイブリッド形式により開催)
令和5年度開催 千葉県

(3) 事業主体及びその妥当性

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (以下「血液法」という。) 第5条において、献血の推進は地方公共団体の責務とされており、献血運動の展開、献血について県民に正確な情報を伝え、その理解と協力を得ることは県が取り組むべき事項とされている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

広く国民に献血への理解と協力を求め、献血運動を全国的な国民運動として推進することを目的に、令和6年度7月に「第60回献血運動推進全国大会」を開催する。大会の開催を機に、県民の献血への意識、特に将来献血の担い手となる若年層の献血機運を高め、献血に参加する機会を創出することで、将来にわたる血液の安定的な確保を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
						%

○指標を設定することができない場合の理由

献血運動推進全国大会を開催するための事業経費であり、具体的な目標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	
令和4年度	
<p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>近年、少子高齢社会の進展により、若年層の人口が減少するとともに、10代～30代の若年層の献血離れが進んでおり、安定的な血液の確保が大きな課題となつてしている。大会の開催を機に、献血の推進に向けた機運を一層盛り上げていく。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県民に対する大会の周知や大会開催に向けて献血の推進に向けた機運を一層盛り上げていく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	